

事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

徳山下松港の背後には基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、大型船が使用可能な岸壁が不足していることから、立地企業の生産拡大と輸送船の大型化に対応した港湾機能の強化を進めることが喫緊の課題となっています。

このため、^{しんなんよう}新南陽地区において、国際物流ターミナル（水深12m）の整備を推進します。併せて、発生する浚渫土砂を活用して、干潟の造成にも取り組んでいます。



期待される整備効果

本事業により、石炭等の原材料の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

併せて干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。